

製品名: JMY ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12840**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	130kDa

抗原情報

遺伝子名	JMY
別名	JMY; Junction-mediating and -regulatory protein
遺伝子 ID	133746.0
SwissProt ID	Q8N9B5
免疫原	抗血清はヒト JMY 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 931-980

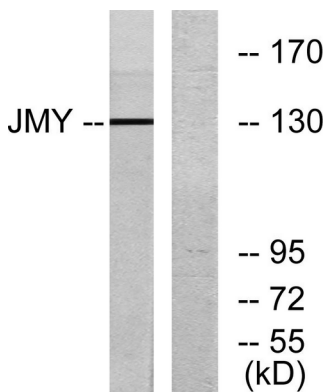
背景

機能: p300/EP300 との相互作用を介して p53/TP53 応答を増強する補因子。p53/TP53 依存性転写およびアポトーシスを増加させるため、DNA 損傷などの p53/TP53 ストレス応答において重要な役割を担うことを示唆している。誘導: E2F による。PTM: MDM2

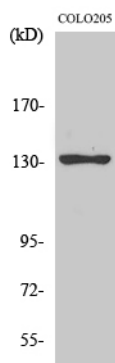
によってユビキチン化され、その後プロテアソームによって分解される。DNA 損傷の場合、MDM2 との相互作用が変化し、分解が阻止され、p300/EP300 との相互作用と p53/TP53 ストレス応答におけるその機能が可能になる。類似性: 1つの WH2 ドメインを含む。サブユニット: p300/EP300 と相互作用し、複合体は活性化 p53/TP53 にリクルートされる。TTC5 と相互作用する。機能: p300/EP300 との相互作用を介して p53/TP53 応答を増強する補因子。p53/TP53 依存性転写およびアポトーシスを増加させ、DNA 損傷などの p53/TP53 ストレス応答において重要な役割を担っていることを示唆している。誘導: E2F による。PTM: MDM2 によってユビキチン化され、その後プロテアソームによる分解が誘導される。DNA 損傷の場合、MDM2 との相互作用が変化し、分解が阻害され、p300/EP300 との相互作用が可能となり、p53/TP53 ストレス応答におけるその機能を果たす。類似性: WH2 ドメインを1つ含む。サブユニット: p300/EP300 と相互作用し、活性化 p53/TP53 にリクルートされる。TTC5 と相互作用する。

研究分野

画像データ



JMY 抗体を用いた COLO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



JMY ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析